

第 51 期

定時株主総会 参考資料

51st Ordinary General Meeting of Shareholders

立山第3工場



Contents 目次

1	連結経営指標等の推移	3
2	当社経営指標等の推移	4
3	業績推移 — 売上高・親会社株主に帰属する当期純利益 —	5
3	業績推移 — 純資産/総資産 —	6
3	業績推移 — 1株当たり純資産額・1株当たり当期純利益 —	7
4	セグメント別売上高の状況	8
5	連結財務諸表	9
6	財政状態の分析	10
7	経営成績の分析〔連結損益計算書（2021年4月1日から2022年3月31日まで）〕	11
8	会社概要	12
9	沿 革	13
10	3つの事業部門	14・15
11	国内事業拠点	16
12	立山第3工場 2022年4月稼働開始	17
	NIC Autotec 製品のご紹介	18～22
	本資料について	23

回次		第47期	第48期	第49期	第50期	第51期
決算年月		2018年3月	2019年3月	2020年3月	2021年3月	2022年3月
売上高	(千円)	9,260,778	8,715,190	6,614,552	6,649,521	7,432,884
経常利益	(千円)	1,032,716	746,710	176,938	220,688	267,925
親会社株主に帰属する当期純利益	(千円)	695,663	492,371	100,433	136,355	248,846
包括利益	(千円)	725,520	428,516	44,884	209,309	228,068
純資産額	(千円)	4,631,834	4,831,497	4,643,482	4,634,829	4,639,506
総資産額	(千円)	8,386,222	8,203,116	7,431,294	8,138,653	8,713,210
1株当たり純資産額	(円)	850.09	886.69	852.21	850.64	851.50
1株当たり当期純利益	(円)	127.67	90.36	18.43	25.02	45.67
自己資本比率	(%)	55.2	58.9	62.5	56.9	53.2
自己資本利益率	(%)	15.8	10.4	2.1	2.9	5.4
株価収益率	(倍)	12.8	8.9	43.4	35.6	17.8
営業活動によるキャッシュ・フロー	(千円)	556,092	612,256	390,388	1,140,862	51,628
投資活動によるキャッシュ・フロー	(千円)	693,210	231,933	512,404	163,119	1,179,210
財務活動によるキャッシュ・フロー	(千円)	371,830	304,511	175,429	188,708	398,528
現金及び現金同等物の期末残高	(千円)	545,329	617,831	671,945	1,461,114	636,690
従業員数〔外、平均臨時雇用者数〕	(名)	223〔47〕	251〔36〕	254〔35〕	255〔32〕	242〔36〕

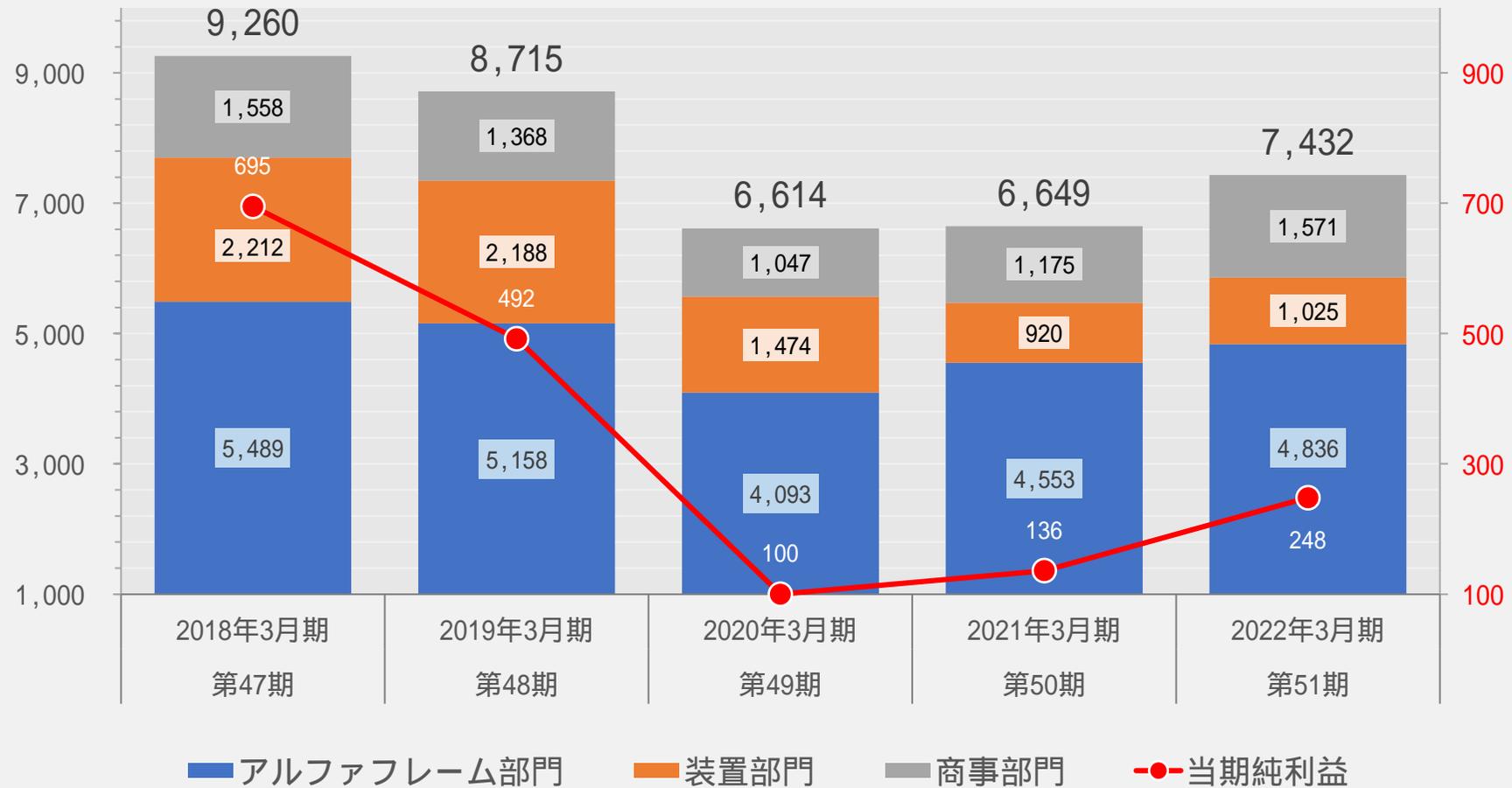
(注) 1. 「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を第51期の期首から適用しており、第51期に係る主要な経営指標等については、当該会計基準等を適用した後の指標等となっております。
 2. 従業員数欄の〔外書〕は、臨時従業員の年間平均雇用人員(1日8時間換算)であります。

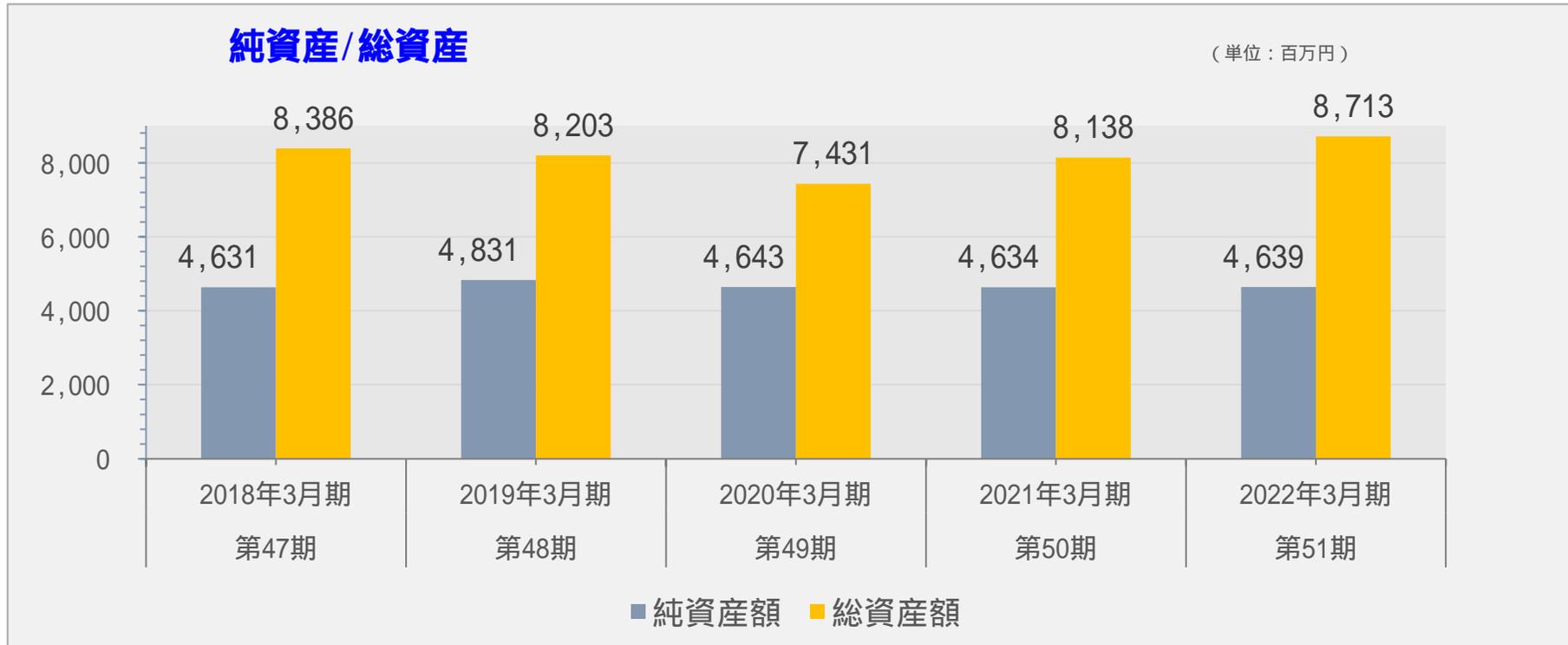
回次		第47期	第48期	第49期	第50期	第51期
決算年月		2018年3月	2019年3月	2020年3月	2021年3月	2022年3月
売上高	(千円)	9,259,861	8,683,344	6,567,071	6,620,076	7,354,847
経常利益	(千円)	1,088,010	812,257	227,139	266,543	272,062
当期純利益	(千円)	685,821	468,594	150,079	182,326	161,806
資本金	(千円)	156,100	156,100	156,100	156,100	156,100
発行済株式総数	(株)	5,500,000	5,500,000	5,500,000	5,500,000	5,500,000
純資産額	(千円)	4,653,576	4,828,272	4,715,034	4,744,778	4,660,475
総資産額	(千円)	8,392,840	8,183,886	7,483,572	8,218,131	8,733,404
1株当たり純資産額	(円)	854.08	886.14	865.36	870.83	855.36
1株当たり配当額(内、1株あたり中間配当額)	(円)	39(16)	39(19)	39(19)	41(20)	41(20)
1株当たり当期純利益	(円)	125.87	86.00	27.54	33.46	29.69
自己資本比率	(%)	55.4	59.0	63.0	57.7	53.4
自己資本利益率	(%)	15.5	9.9	3.1	3.9	3.4
株価収益率	(倍)	13.0	9.3	29.0	26.6	27.4
配当性向	(%)	31.0	45.3	141.6	122.5	138.1
従業員数(外、平均臨時雇用者数)	(名)	214〔47〕	242〔36〕	242〔35〕	244〔32〕	242〔36〕

- (注) 1. 「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を第51期の期首から適用しており、第51期に係る主要な経営指標等については、当該会計基準等を適用した後の指標等となっております。
2. 従業員数欄の〔外書〕は、臨時従業員の年間平均雇用人員(1日8時間換算)であります。

連結業績推移（セグメント別）

（単位：百万円）





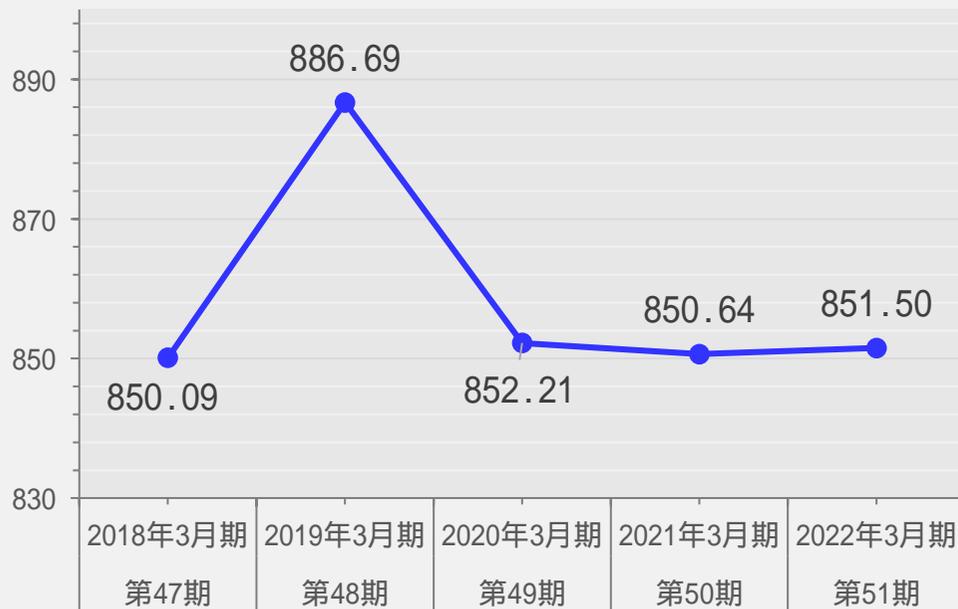
財政状態の分析

当連結会計年度末における総資産は、前期末と比べ574百万円増加し、8,713百万円となり、負債合計は、前期末と比べ569百万円増加し、4,073百万円となりました。正味運転資本（流動資産から流動負債を控除した金額）は2,250百万円であり、流動比率は207.9%であります。

なお、当連結会計年度末の純資産合計は、前期末と比べ4百万円増加し、4,639百万円となりました。自己資本比率は53.2%となっております。

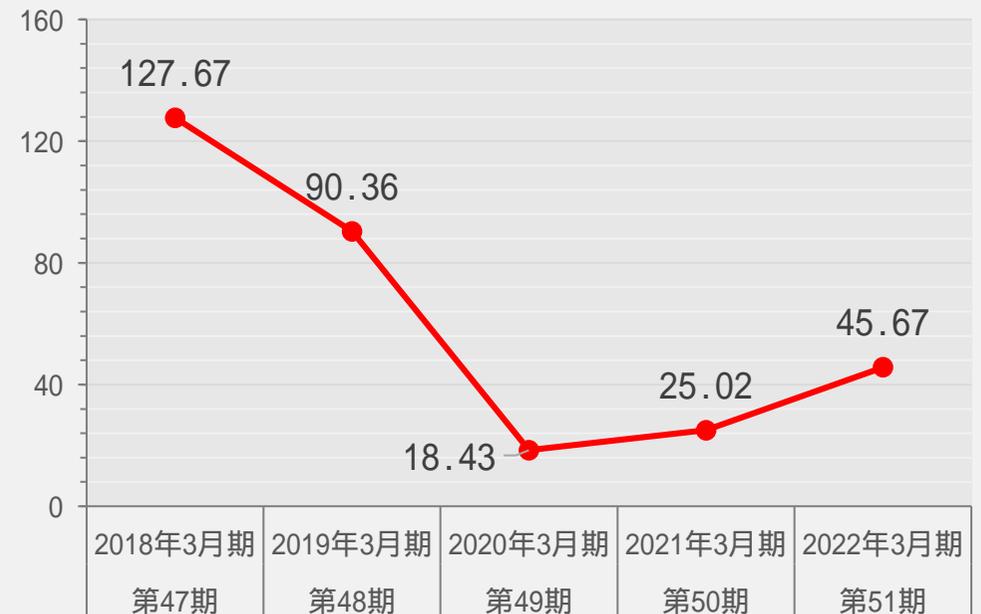
1株当たり純資産額

(単位：円)



1株当たり当期純利益

(単位：円)





アルファフレーム部門

アルファフレーム部門の一般顧客向けの販売では、COVID-19の影響による営業活動の支障は徐々に解消され、下半期では緩やかながら回復傾向となりました。大口顧客向け継続案件においても安定的な受注がありました。特に第4四半期では一般顧客向けにおいて当社独自の「カクチャ™」及び「マーキングシステム™」を活用した作図案件が伸長し、COVID-19発生以前を上回る受注を獲得しました。

この結果、当部門の売上高は4,836百万円（前期比106.2%）となりました。



装置部門

装置部門におきましては、主要顧客である自動車部品製造企業において大規模な設備導入が停滞している中で洗浄装置を中心とした単品案件を多く獲得するとともに、薬品・食品などの分野からも受注を獲得いたしました。

この結果、当部門の売上高は1,025百万円（前期比111.4%）となりました。



商事部門

商事部門におきましては、主要顧客各社とも消耗品や治工具類の需要は安定的となってきたはいるものの、自動車の減産の影響からCOVID-19発生以前の状況には戻っておりません。一方で、機械設備関係については大型の受注があり、比較的好調に推移いたしました。

この結果、当部門の売上高は1,571百万円（前期比133.7%）となりました。

連結貸借対照表

(2022年3月31日現在)

科目	金額(千円)
資産の部	
流動資産	4,336,086
固定資産	4,377,123
有形固定資産	3,843,579
無形固定資産	37,796
投資その他の資産	495,747
資産合計	8,713,210
負債の部	
流動負債	2,085,320
固定負債	1,988,383
負債合計	4,073,703
純資産の部	
株主資本	4,569,144
資本金	156,100
資本剰余金	145,636
利益剰余金	4,302,199
自己株式	34,791
その他の包括利益累計額	70,329
非支配株主持分	32
純資産合計	4,639,506
負債及び純資産合計	8,713,210

連結損益計算書

(2021年4月1日から2022年3月31日まで)

科目	金額(千円)
売上高	7,432,884
売上原価	5,954,645
売上総利益	1,478,238
販売費及び一般管理費	1,222,538
営業利益	255,700
営業外収益	22,534
営業外費用	10,309
経常利益	267,925
特別損失	39,536
税金等調整前当期純利益	228,389
法人税等	20,419
当期純利益	248,809
非支配株主に帰属する当期純利益	36
親会社株主に帰属する当期純利益	248,846



流動資産	<p>当連結会計年度末における流動資産の残高は、前年度末と比べ571百万円減少し、4,336百万円となりました。これは主に、受取手形が91百万円、電子記録債権が275百万円、それぞれ増加した一方で、現金及び預金が824百万円、仕掛品が191百万円、それぞれ減少したことなどによります。</p>
固定資産	<p>当連結会計年度末における固定資産の残高は、前年度末と比べ1,146百万円増加し、4,377百万円となりました。これは主に、建設仮勘定が新工場建設に係る投資等により1,106百万円、繰延税金資産が122百万円、それぞれ増加した一方で、建物(純額)が93百万円減少したことなどによります。</p>
流動負債	<p>当連結会計年度末における流動負債の残高は、前年度末と比べ291百万円減少し、2,085百万円となりました。これは主に、電子記録債務が143百万円増加した一方で、支払手形及び買掛金が241百万円、1年内返済予定の長期借入金が134百万円、それぞれ減少したことなどによります。</p>
固定負債	<p>当連結会計年度末における固定負債の残高は、前年度末と比べ860百万円増加し、1,988百万円となりました。これは主に、新工場建設に係る借入れにて長期借入金が803百万円、リース債務が51百万円、それぞれ増加したことなどによります。</p>
純資産	<p>当連結会計期間末における純資産は、前期末と比べ4百万円増加し、4,639百万円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する当期純利益の計上248百万円及び配当金の支払い1223百万円があったことなどにより、利益剰余金が25百万円増加した一方で、その他有価証券評価差額金が22百万円減少したことなどによります。</p>

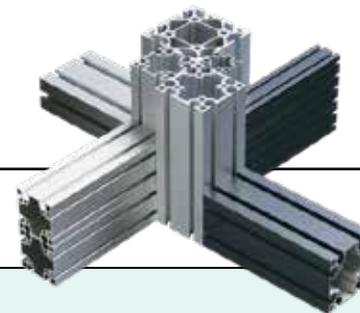


<p style="text-align: center;">売 上 高</p>	<p>アルファフレーム部門におきましては、一般顧客向けの販売では、COVID-19の影響による営業活動の支障は徐々に解消され、下半期では緩やかながら回復傾向となりました。特に第4四半期では一般顧客向けにおいて当社独自の「カクチャ™」及び「マーキングシステム™」を活用した作図案件が伸長し、COVID-19発生以前を上回る受注を獲得しました。また、大口顧客向け継続案件においても安定的な受注がありました。</p> <p>装置部門におきましては、主要顧客である自動車部品製造企業において大規模な設備導入が停滞している中で洗浄装置を中心とした単品案件を多く獲得するとともに、薬品・食品などの分野からも受注を獲得いたしました。</p> <p>商事部門におきましては、主要顧客各社とも消耗品や治工具類の需要は安定的となってきたはいるものの、自動車の減産の影響からCOVID-19発生以前の状況には戻っておりません。一方で、機械設備関係については大型の受注があり、比較的好調に推移いたしました。</p> <p>これらの結果、売上高は7,432百万円（前期比111.8%）となりました。</p>
<p style="text-align: center;">売 上 総 利 益</p>	<p>当連結会計年度は、アルミ地金等の材料費の価格高騰の影響は徐々に出てきているものの、製造人員の適正配置、内製化の推進、経費の削減を推進したことにより、売上総利益は1,478百万円（前期比106.7%）となりました。</p>
<p style="text-align: center;">販売費及び一般管理費</p>	<p>COVID-19の影響下においても、効率的な営業活動などを推進し経費節減に努めた結果、1,222百万円（前期比104.7%）と前年比で微増となりました。</p>
<p style="text-align: center;">営 業 利 益 経 常 利 益 親会社株主に帰属する 当 期 純 利 益</p>	<p>当連結会計年度は、売上高の伸びに対し、販売費及び一般管理費の増加を抑えたことにより、営業利益が255百万円（前期比117.3%）、経常利益が267百万円（前期比121.4%）となりました。また、連結子会社であるNIC Autotec (Thailand) Co., Ltd.の解散及び清算決定に伴う特別損失39百万円を計上したものの、同社の解散及び清算に伴い回収可能性があると判断した将来減算一時差異について法人税等調整額を104百万円計上したことにより、親会社株主に帰属する当期純利益が248百万円（前期比182.5%）と大幅に増加いたしました。</p>





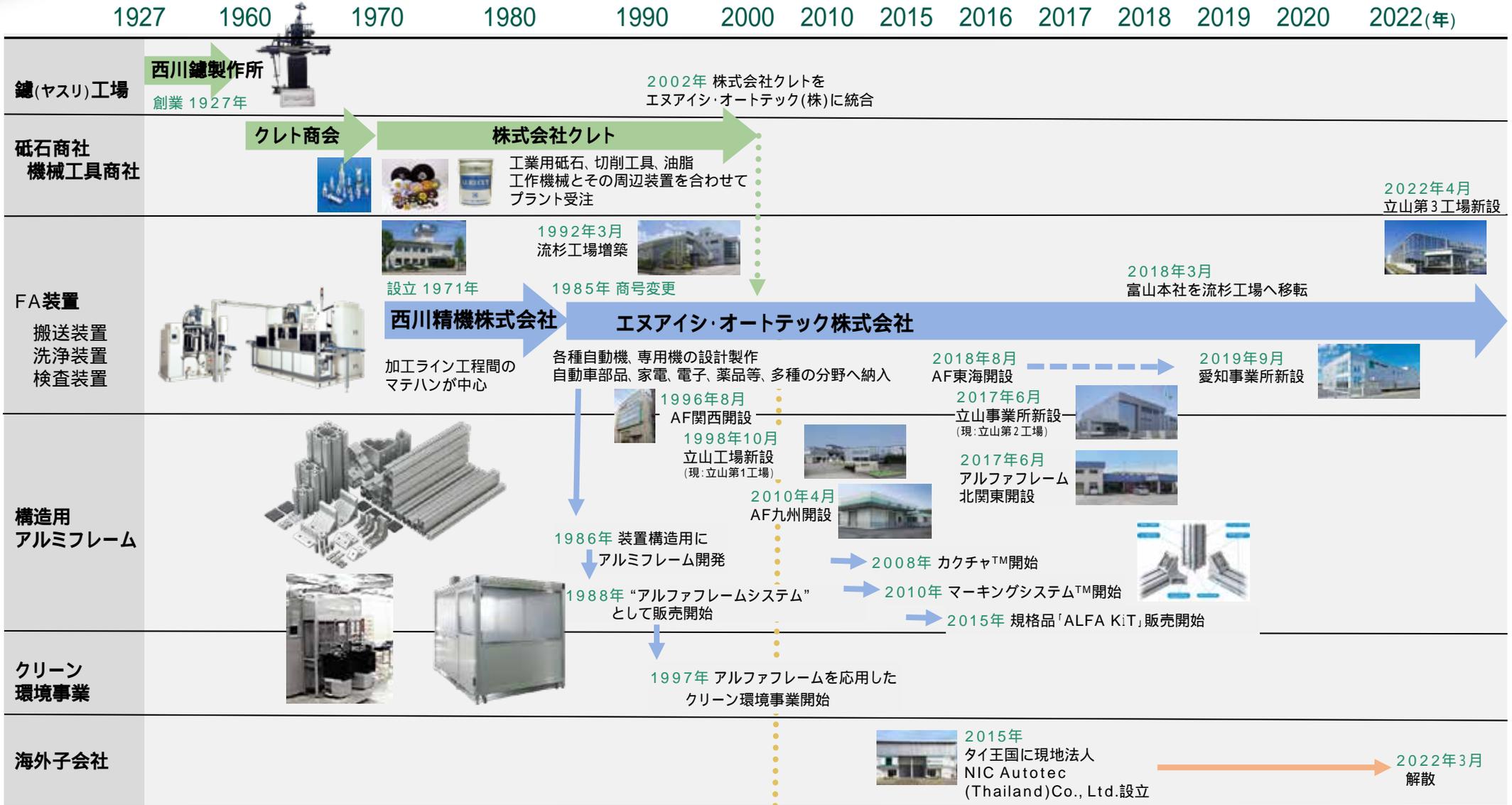
NIC Autotec, Inc.
エヌアイシ・オートテック株式会社



創 業	1927年4月（昭和2年）
設 立	1971年5月17日（昭和46年）
代 表 者	代表取締役会長CEO 西川 浩司
本 社 所 在 地	富山県富山市流杉255番地
東 京 本 社	東京都江東区有明三丁目7番26号 有明フロンティアビル B棟 11階
資 本 金	156,100千円（2022年3月31日現在）
従 業 員 数	242名（2022年3月31日現在）
平 均 年 齢	38.7歳（2022年3月31日現在）

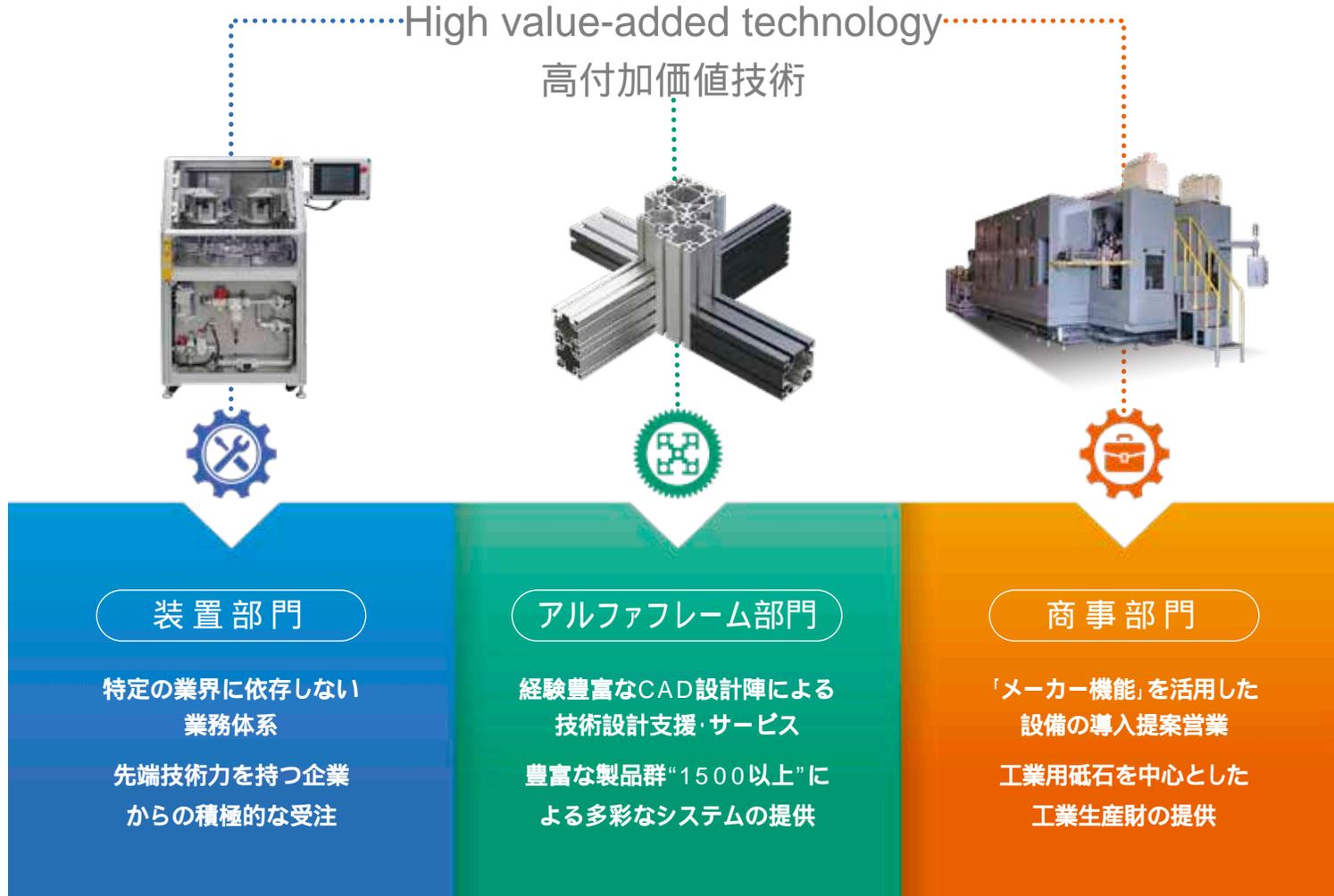


創業当時の「ヤスリ目立て機」
 1927年4月西川鋳製作所を設立
 鋳（やすり）製造および加工を行う



2006年アルファフレーム、装置、商事の3事業を核として、
JASDAQ(現:東京証券取引所)に上場

アルミ製構造部材から高度な自動化装置さらにはクリーンルームの製造・販売までの一貫体制





折り曲げ装置



ALFA FRAME SYSTEM



工具・ツール



油脂類



工業用砥石

アルファフレーム + 装置 + 商事



カスタムクリーンブース



パレタイズ装置



カップ式洗浄機
NCR215



小型ロボット専用
アルミ架台
産業用ロボット架台



カップ式ブロー機
CRL318E



富山本社/流杉工場

富山県富山市流杉255



**立山第1工場 (旧:立山工場)
/ 開発センター**

富山県中新川郡
立山町塚越398-176



立山第2工場 (旧:立山事業所)

富山県中新川郡
立山町前沢2178-1



立山第3工場 (新工場)

富山県中新川郡
立山町利田161



アルファフレーム九州

福岡県大牟田市
四箇新町1-2



アルファフレーム北関東

埼玉県児玉郡
神川町元阿保309

東京本社 (登記上東京支店)

東京都江東区有明3-7-26
有明フロンティアビルB棟11階

愛知事業所

愛知県清須市
清洲田中町167

アルファフレーム関西

大阪府東大阪市
本庄西2-4-29

アルファフレーム部門

装置部門

商事部門





所在地	富山県中新川郡立山町利田
敷地面積	9,970㎡ (約3,016坪)
構造	鉄骨造/地上2階
延床面積	4,578㎡ (約1,385坪)

2022年2月4日に当立山第3工場の隣地4,864㎡の取得を決定いたしましたので、将来的には当工場の敷地面積は、14,834㎡ (約4,487坪) となります。

立山第3工場は、FA装置（洗浄・検査・搬送・梱包等の自動化・省力化装置）、クリーン装置（クリーンブースやクリーンベンチ等のクリーン関連機器）及びロボット関連装置・機器等の設計・製作の拠点（FA機器設計製作工場）として、稼働を開始いたしました。

富山県内4工場の役割・生産体制を再構築

立山第3工場の稼働に伴い、富山県中新川郡立山町地区内の他の2工場の名称を、立山第1工場（旧：立山工場）、立山第2工場（旧：立山事業所）へ変更しております。

また、富山県内の4工場の構造及び既存設備、これに伴う生産効率並びに今後の営業展開による受注状況等を勘案し、以下のとおり各工場の役割・生産体制を再構築いたしました。

	業務・生産内容
流 杉 工 場	機械加工部品及び量産部品等の生産工場
立 山 第 1 工 場 (旧：立山工場)	AF生産工場 アルファフレームシステムの生産及び物流工場
立 山 第 2 工 場 (旧：立山事業所)	大型構造物等生産工場 大型構造物及び小型ロボット専用アルミ架台等、筐体の組立工場
立 山 第 3 工 場 (新工場)	FA機器設計製作工場 FA装置、クリーン装置及びロボット関連装置・機器等の設計・製作





NIC Autotec

製品のご紹介

ALFA KiT 用途に合わせた規格品「アルファ・キット」	19
カクチャ™ (KAKCHAR) アルミフレーム・トータルサポート・サービス	20
マーキングシステム™ 世界初、取付位置を教える	21
高減衰アルミフレーム	22

用途に合わせた規格品「アルファ・キット」

ALFA KIT



ALFA KIT(アルファキット)は装置メーカーが自信を持ってご提供する規格品です。小型ロボット専用アルミ架台を展開する「ロボットシリーズ」では、業界で初めて架台の剛性を数値化し、架台選択の目安となる基準値を作りました。その技術に応用した「スタンドシリーズ」は、高い剛性を持ちながらも高級感のある仕上がりに。ビジネスでもプライベートでも用途に合わせて空間を美しく演出します。

ロボットシリーズ AK-R-Series

最短2日~でお届け。型式で選べる、ロボット架台のラインアップ

産業用ロボット架台 FCシリーズ



垂直多関節ロボット7kg可搬以下用

規格品 サイズ限定
AK-R-FC07-1000



垂直多関節ロボット用
セミオーダー サイズ変更可
AK-R-FC07 (08.09)



水平多関節ロボット
3kg可搬以下用
規格品 サイズ限定
AK-R-FC503



天吊り架台



連結架台

カスタム架台
フルオーダー

協働ロボット架台 FKシリーズ



協働ロボット10kg可搬以下用

規格品 サイズ限定
セミオーダー サイズ変更可
AK-R-FK10



協働ロボット
10kg可搬以下用
セミオーダー サイズ変更可
AK-R-FK10

各社ロボット専用架台

規格品 サイズ限定



AK-R-ASSISTA
(三菱電機)



AK-R-FK005-CA
(デンソーウェーブ)



AK-R-FK07
(FANUC)

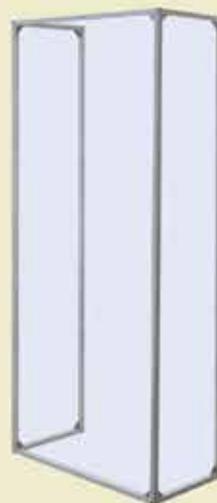


協働ロボット
5kg可搬以下用
規格品 サイズ限定
AK-R-FK505

スタンドシリーズ AK-S-Series

様々な用途に使える、7種類/21タイプの商品をラインアップ

飛沫防止パーテーション



上図はAK-S-PTP180

シーンに合わせた6タイプをご用意しました。



百貨店やオフィスの受付に

規格品 サイズ限定
パネル数 AK-S-PT180
パネル有 AK-S-PTP180



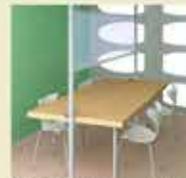
レジカウンターや株主ブースに

規格品 セミオーダー
パネル数 AK-S-PT1
パネル有 AK-S-PTP1



カウンターテーブルや受付窓口

規格品 セミオーダー
パネル数 AK-S-PT2
パネル有 AK-S-PTP2



会議室などの大型テーブルに

規格品 セミオーダー
パネル数 AK-S-PT3
パネル有 AK-S-PTP3



ベンチシートなどの業務用仕切りに

規格品 セミオーダー
パネル数 AK-S-PT4
パネル有 AK-S-PTP4



食堂などの卓上仕切りに

規格品 セミオーダー
パネル数 AK-S-PT5
パネル有 AK-S-PTP5

大型テレビスタンド



規格品 サイズ限定
AK-S-TV100
耐重量20kg

ミニフェンス



規格品 サイズ限定
AK-S-MF100
AK-S-MF72

水槽架台



規格品 サイズ限定
Atype AK-S-AQ70
Btype AK-S-AQ90
Ctype AK-S-AQ70H
Dtype AK-S-AQ90H

サーバーラック



規格品 サイズ限定
Atype AK-S-SR90
Btype AK-S-SR120

模型展示台



規格品 サイズ限定
Atype AK-S-MD1030
Btype AK-S-MD1040
Ctype AK-S-MD50
Dtype AK-S-MD45

ワークベンチ



規格品 サイズ限定
Atype AK-S-WB80
Btype AK-S-WB120

アルミフレーム・トータルサポート・サービス カクチャ™ (KAKCHAR)



設計サポート

構想データをご用意頂くだけでアルミフレームの設計が不要。図面番号でのご注文が可能です。

マーキングシステム™

マーキングに合わせて取り付けるだけ。図面を読む相違スキルが不要です。組立作業を分離し効率化を図れます。

ナット付フレーム

ナット挿入済！
フレーム溝にナットセットが入った状態で納入されますので開梱後すぐに組立が行えます。

貴重な時間や労力など「見えにくいコスト」を「カクチャ™」がカットします！



カクチャ™+マーキングシステム™でトータルコストを徹底的にカット！



カクチャ™の主なメリット

- メリット 1** ご相談からアフターケアまで「アルミフレームのプロ」がトータルサポート。
- メリット 2** 構造解析で設計を最適化。過剰品買を防ぎ適正部材を選択します。
- メリット 3** 専用CADシステムにて設計を代行。様々な図面データと部材リストをご提供いたします。
- メリット 4** 部材のみから完成品、現地据付けなど、お客様のニーズに合わせて納入方法が選べます。

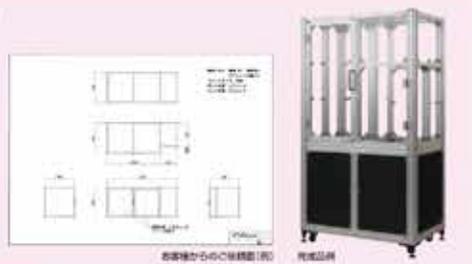
ご依頼から納入までのサービスの流れ



トータルサポート「カクチャ™(KAKCHAR)」はアルミフレームを知り尽くした私たちだから提供できる独自のサービスです。ご依頼前の相談から納入後のアフターケアまでお客様それぞれの効率化を適切にフォロー。時間、労力、過剰品質など「見えにくいコスト」の削減に大きく貢献しています。

ご依頼方法

- P484または下記URLより、オーダーシートをダウンロードください。
 - お客様側で形状、寸法などを明記したご依頼書を作成ください。
- オーダーシートダウンロード
<http://www.nic-inc.co.jp/alfiframe/order/>



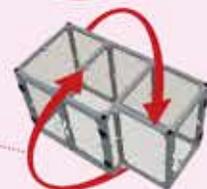
以上2枚を当社までお送りください。

当社専門スタッフが、オリジナルCADシステムを使って設計します。様々なフォーマットの図面と、構成する部材のリストも無償でご提供します。

2D図面、組立図面、3D部とパーツリスト

ご提供可能図面
●3D図 ●DXF
●2D図 ●STEP
●3D-PDF ●組立図面
●ナット配置図 など

※図面は3D図面図面なら、いろいろな角度から視点を確認できます。
※2D図面データをお送りいただくことで、図面が読み取りやすくなり、図面の提供がスムーズになります。
※FAX番号はカタログ裏面に記載しています。



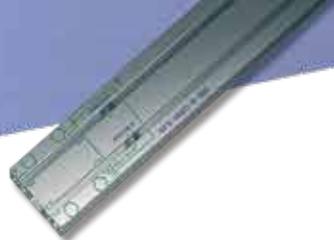
自由に選べる納入方法



※有償オプションや図面での発行は有償です。別途お見積いたします。

世界初、取付位置を教える

マーキングシステム™



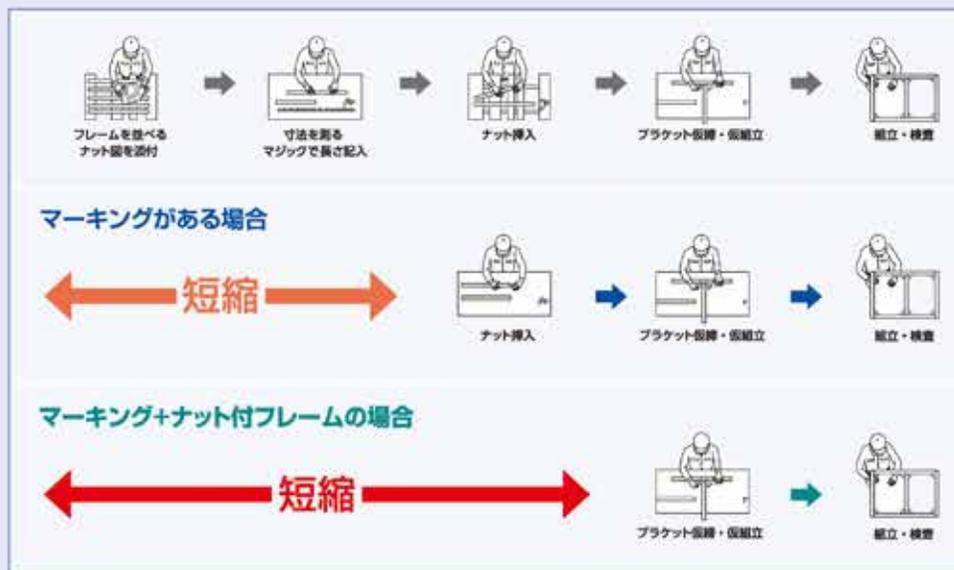
組立時間の4割を占める「部材を探す、組立手順を考える、寸法を測る…」という作業を「アルミフレームに直接設計図を印刷する」ことで大幅カット。見えないコストを短縮し、組立やすさを実現しました。特殊プリンタを用いた「マーキングシステム™」は世界初、NIC独自の技術です。

マーキングシステム™の主なメリット

- メリット 1** 取付位置が一目瞭然。組立時の「探す」「考える」「測る」時間を劇的に短縮します!
- メリット 2** 図面を見る必要がなく、アルミフレームの組立スキル不要!
- メリット 3** ネットの挿入位置も測定不要。ネットの入れ忘れも防ぎます!

組立工程の効果

組立に必要な情報が高精度で直接フレームに印刷されているために、間違いが起こりません。組立後の完成検査においてもメジャー計測なく、印刷ラインとのズレを目視でご確認いただけます。



高減衰アルミフレーム



架台や定盤などに生じる振動を素早く収束させる高い減衰性能を有したアルミフレームです。
 半導体・液晶製造装置、光学系機器、工作機械など、
 わずかな振動も許されない精密装置や機器にお使いいただければ、
 タクトタイムやスループットを向上させ、装置・機器の高精度化に貢献します。



— ノーマル振動波形
 — 高減衰振動波形

ご依頼から納入までの流れ

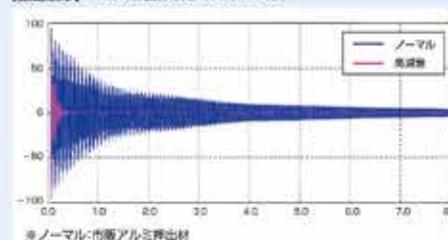


振動試験結果



【アルミ押出材】
AFS-4545L-8

【振動波形】 アルミ押出材 長さ1,500mmの例



※ノーマル：市販アルミ押出材
 高減衰：高減衰アルミ押出材(市販アルミ押出材+振動減衰機構)

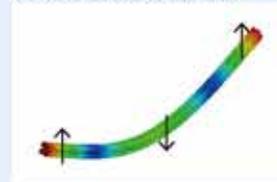
【振動試験結果】

アルミ押出材 長さ	振動数	ノーマル 減衰比	高減衰 減衰比	ノーマル比
700mm	524Hz	0.008%	1.002%	111倍
1,500mm	99.9Hz	0.009%	1.734%	193倍
2,000mm	66.4Hz	0.006%	0.791%	132倍

【試験体】

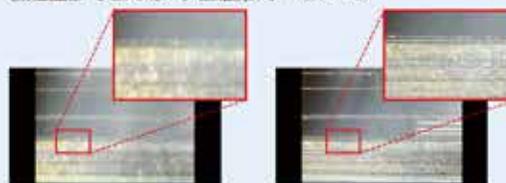


【対象振動モード：1次曲げモード】



高減衰効果の一例

顕微鏡画像 ウェハバターン(線幅2μm) ※倍率800倍



振動波形



ノーマル構造

Super高減衰構造

振動発生後、ノーマル構造の顕微鏡焦点ピントがなかなか合わない(ぼやける)のに対し、Super高減衰構造が素早く振動を収束させるため、すぐにピントが合うのがわかります。

高減衰アルミフレームの適用例

型 式	断面サイズ(mm)	長さ(mm)
AFS-3030L-8-BK	□30×30	490-1570
AFS-4040-8	□40×40	565-1892
AFS-4040F-8	□40×40	545-1842
AFSR-4040-8	1/4円 □40×40	445-1872
AFS-4080-8	□40×80	1501-1695
AFS-4080F-8	□40×80	1421-1562
AFS-4545L-8	□45×45	700-2000
AFS-5050B-8	□50×50	1460-1510
AFS-8080-8	□80×80	840-1470
AFSL-808040-8	L型 80×80	1170-1570
AFS-100200H-10	□100×200	2000

【高減衰化適用可能なアルミフレームについて】
 断面内にφ6以上の空孔を確保できるクリアランス(中空部)があること。
 押出材の厚さは、.600-3.000mm程度であること。
 その他、詳細につきましては、お気軽にお問い合わせください。



本資料について

本資料を作成するに当たっては正確性を期すために慎重に行っておりますが、完全性を保証するものではありません。

本資料中の情報によって生じた障害や損害については、当社は一切責任を負いません。

本資料中の業績予想並びに記載された内容は、本資料作成日現在において一般的に認識されている経済・社会等の情勢及び当社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成されておりますが、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更される可能性があります。

本資料に対するお問合せは、以下へお願い申し上げます。

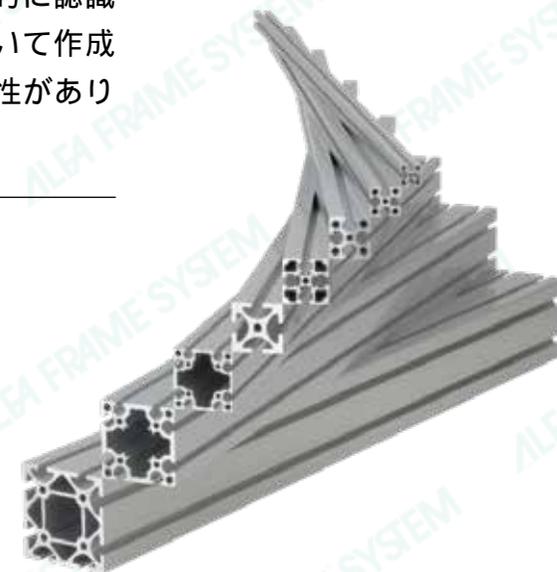
< エヌアイシ・オートテック株式会社 管理部管理グループ >

TEL : 076-425-0738

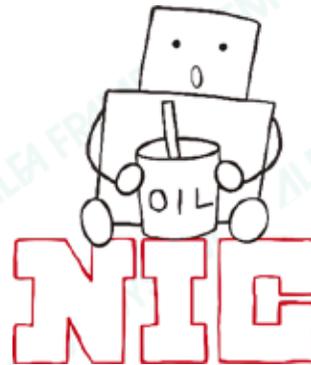
FAX : 076-422-2712

Mail : ir@nic-inc.co.jp

URL : <https://www.nic-inc.co.jp/>



Thank You !



エヌアイシ・オートテック株式会社

富山本社/流杉工場 〒939-8032 富山県富山市流杉255 TEL:076-425-0738
東京本社 〒135-0063 東京都江東区有明3-7-26 TEL:03-5530-8060
有明フロンティアビルB棟11F

ご注意 著作権 © NIC AUTOTEC,INC.

WARNING: All Rights Reserved. Unauthorized duplication is a violation of applicable laws.

本資料を権利者の許諾なく無断複製、改変、頒布、翻訳などに使用することは、著作権上、禁じられています。

産業財産権 NIC AUTOTEC,INC. ALFA CLEAN BOOTH & SYSTEM,ALFA FRAME SYSTEMの主要な構成部品は特許、実用新案、意匠権など産業 財産権により保護されております。